



平成 25 年 11 月 8 日

各 位

会 社 名 シンフォニアテクノロジー株式会社
代 表 者 取締役社長 武藤昌三
(コード番号 6507 東証 第一部)
問 合 せ 先 総務人事部 総務秘書グループ長
中村達也
(TEL 03-5473-1800)

企業理念制定、及び新中期経営計画「BRIDGE 100」策定に関するお知らせ

当社は、5年後の2017年に創業100周年という節目を迎えます。今後、企業価値とその源泉となる競争力をより高めるために、グループ内すべての従業員が共通の心の拠り所を有することができるよう、創業以来受け継がれてきた価値観、精神を明文化した「企業理念」を制定いたしました。

この「企業理念」に則り、2017年度を最終年度とする5ヶ年のグループ中期経営計画「BRIDGE 100」を策定し、取り組みを開始しておりますのでお知らせいたします。

記

■企業理念

「一歩先を行く技術」
「地球を大切に作る心」
「思いやりのある行動」
私たちはこの3つを大切に
人から宇宙まで
豊かな暮らしと社会の発展に貢献します。

■新中期経営計画

1. 新中期経営計画の位置づけ

創業100周年に向けて、長い歴史の中で培ってきた幅広い技術・顧客基盤を活かし、変化する時代に対応した開発型企業へ転換し、新たな成長を実現します。そして、次の100年間も社会に貢献し、従業員・家族の生活を守り続ける企業となるための架け橋の5ヶ年中期経営計画とします。

なお、呼称は「BRIDGE 100」とします。

2. 新中期経営計画の概要

(1) 中期経営計画のビジョン

～“Motion & Energy Control”技術でグローバルに成長～

当社グループにおいて培ってきた“Motion & Energy Control”技術で、ASEAN・中国の経済成長に伴う産業設備投資需要にマッチした製品の投入と、先進国成熟社会におけるエネルギー効率化の加速に対応したソリューションの提供により、当社グループの収益基盤を確立し、グローバルな成長を目指します。

(2) 中期経営計画の基本方針

2017年に迎える創業100周年に向けて、以下の基本方針のもと、本中期経営計画の目標を達成し、企業価値の向上を実現します。

① 中核事業の拡大

4つの中核事業(『航空宇宙事業』、『モーションコントロール機器事業』、『自動車試験装置事業』、『クリーン搬送機器事業』)を拡大させるべく開発・設備投資、要員を重点的に配分し、事業収益を向上させます。

② グローバル事業の拡大

東南アジア・中国市場のニーズをつかみ、これまで整備を進めてきたタイ・中国の現地法人を中心にグローバル事業を拡大します。

③ 新分野への挑戦

“Motion & Energy Control”技術と“計測・制御”技術により、再生医療関連産業の成長、福祉の省力化ニーズが期待される「医療・福祉」分野、食の安全・安定供給への期待が高まる「農業」分野での事業化に挑戦します。

④ グループ経営基盤整備

事業拡大、グローバル化を進めるために必要な、開発・技術力の強化、生産の最適化、人材の育成、及び迅速な意思決定、効率的な業務遂行を支える基盤の整備を行ないます。

(3) 中期経営計画の目標

強固な収益基盤を確立し、2017年度連結売上高1,000億円、経常利益率7.0%以上の達成を目指します。

| | 12年度実績 | 13年度予想 | 17年度目標 |
|-------------|--------|--------|--------|
| 売上高(億円) | 695 | 725 | 1,000 |
| 営業利益率 | 2.0% | 2.9% | 8.0%以上 |
| (営業利益(億円)) | (14) | (21) | (80以上) |
| 経常利益率 | 1.5% | 2.2% | 7.0%以上 |
| (経常利益(億円)) | (11) | (16) | (70以上) |
| ROA | 1.7% | 2.5% | 8.0%以上 |
| 有利子負債残高(億円) | 315 | 314 | 300以下 |
| ネットDEレシオ | 1.0倍 | 1.1倍 | 0.6倍以下 |

(注)本資料の記載の内容は、本資料発表日現在において入手可能な情報や将来に対するさまざまな仮定に基づいた事項であり、上掲の当社経営計画の実現を保証するものではありません。

以上